

# 意識調査・幸せの感じ方指標結果報告

## 鳥取県民ライフスタイル意識調査

- 実施時期 平成26年1月
- 調査対象者 県西部9市町村(米子、境港、大山、日南、日野、南部、江府、伯耆、日吉津)在住  
20代～70代の男女 各市町村240名 合計2,160名
- 対象者抽出方法 各市町村備え付けの住民基本台帳を閲覧、対象者を無作為に抽出
- 実施方法 郵送による実施・回収
- 有効回答率 25.5% (前回実績 37.6%)
- 調査項目
  1. 日常生活の中で感じるストレスや不満について
  2. 生活の満足度について
  3. 各施策への期待度や各施策が生活にどのような影響をもたらすかについて 等
- 調査目的 地域住民が生活の中で感じるストレス、生活の満足度、重要度、施策への期待などを基に地域が求めるライフスタイルや取組の方向性を把握するもの。また地域が抱える課題を解決するための各施策の有効性を「とっとり幸せの感じ方指標」と独自に指標化し検証するもの。これまでと同様の方法で調査を実施しており、今後も定期的に実施を予定。

# 1. 結果

前回より



上昇

平成26年1月に実施した「鳥取県民ライフスタイル意識調査」では幸せの感じ方指標が61.76ポイントで、前回(平成25年1月59.04ポイント)に比べ2.72ポイント上昇した。

生活に対する満足度合、総合的な豊かさ度合は低下したものの、ストレスを感じない度合、施策への期待度合がそれぞれ上昇したことによるもの。

	H24. 1月	H25. 1月		H26. 1月		増減・比較		目標値 (H28)
			対前年増減		対前年増減	対H24増減	目標値比較	
①ストレスを感じない度合 (30点)	14.10	14.17	+0.07	14.49	+0.32	+0.39	—	—
②生活に対する満足度合 (30点)	19.12	19.60	+0.48	19.14	▲0.46	+0.02	—	—
③施策への期待度合 (30点)	22.82	19.86	▲2.96	23.13	+3.27	+0.31	—	—
④総合的な豊かさ度合 (10点)	5.15	5.41	+0.26	5.00	▲0.41	▲0.15	—	—
幸せの感じ方指標 (100点)	61.19	59.04	▲2.15	61.76	+2.72	+0.57	▲6.93	68.69

## 2-①. 各施策における評価（事業寄与指標値）結果

### A. 新交通サービス・・・電気自動車のカーシェアリングによる利便性向上

	H24. 1月	H25. 1月		H26. 1月		増減・比較		目標値 (H28)
			対前年増減		対前年増減	対H24増減	目標値比較	
①ストレスを感じない度合 (10点)	4.86	4.81	▲0.05	4.74	▲0.07	▲0.12	—	—
②生活に対する満足度合 (10点)	5.17	5.04	▲0.13	5.15	+0.11	▲0.02	—	—
③施策への期待度合 (10点)	6.84	5.82	▲1.02	6.91	+1.09	+0.07	—	—
<b>事業寄与指標値 (30点)</b>	<b>16.87</b>	<b>15.67</b>	<b>▲1.20</b>	<b>16.80</b>	<b>+1.13</b>	<b>▲0.07</b>	<b>▲2.57</b>	<b>19.37</b>

#### ○事業寄与指標値の増減分析(H26. 1月)

- ・前年より1.13ポイント上昇。
- ・ストレスを感じない度合、生活に対する満足度合は低下したものの、施策への期待度合が上昇したことによるもの。

## 2-②. 各施策における評価（事業寄与指標値）結果

### B. 再生可能エネルギー・・・再生可能エネルギーの利用による災害時の電力供給

	H24. 1月	H25. 1月		H26. 1月		増減・比較		目標値 (H28)
			対前年増減		対前年増減	対H24増減	目標値比較	
①ストレスを感じない度合 (10点)	4.70	4.83	+0.13	4.51	▲0.32	▲0.19	—	—
②生活に対する満足度合 (10点)	8.14	8.04	▲0.10	7.53	▲0.51	▲0.61	—	—
③施策への期待度合 (10点)	7.92	6.86	▲1.06	8.18	+1.32	+0.26	—	—
<b>事業寄与指標値 (30点)</b>	<b>20.76</b>	<b>19.73</b>	<b>▲1.03</b>	<b>20.22</b>	<b>+0.49</b>	<b>▲0.54</b>	<b>▲3.04</b>	<b>23.26</b>

#### ○事業寄与指標値の増減分析(H26. 1月)

- ・前年より0.49ポイント上昇。
- ・ストレスを感じない度合、生活に対する満足度合は低下したものの、施策への期待度合が上昇したことによるもの。

## 2一③. 各施策における評価（事業寄与指標値）結果

### C. 健康づくりサービス・・・新たなガン検診の測定結果や特定健診データを活用した健康づくりの促進

	H24. 1月	H25. 1月		H26. 1月		増減・比較		目標値 (H28)
			対前年増減		対前年増減	対H24増減	目標値比較	
①ストレスを感じない度合 (10点)	4.54	4.53	▲0.01	5.24	+0.71	+0.70	—	—
②生活に対する満足度合 (10点)	5.81	6.52	+0.71	6.46	▲0.06	+0.65	—	—
③施策への期待度合 (10点)	8.06	7.18	▲0.88	8.04	+0.86	▲0.02	—	—
<b>事業寄与指標値 (30点)</b>	<b>18.41</b>	<b>18.23</b>	<b>▲0.18</b>	<b>19.74</b>	<b>+1.51</b>	<b>+1.33</b>	<b>▲1.17</b>	<b>20.91</b>

#### ○事業寄与指標値の増減分析(H26. 1月)

- ・前年より1.51ポイント上昇。
- ・生活に対する満足度合は低下したものの、ストレスを感じない度合、施策への期待度合が上昇したことによるもの

### 3. 目標値との比較

- 数値目標（H24年を基準とし、H28年の目標値を設定）
  - 各施策における事業寄与評価指数の向上
    - ⇒ H24. 1月の数値より+2.5ポイント
  - とっとり幸せの感じ方指標の向上
    - ⇒ H24. 1月の数値より+7.5ポイント ⇒ 2.5ポイント × 3事業

	A. 新交通サービス	B. 再生可能エネルギー	C. 健康づくりサービス	とっとり幸せの感じ方指標
H24. 1月	<b>16.87</b>	<b>20.76</b>	<b>18.41</b>	<b>61.19</b>
H26. 1月	<b>16.80</b>	<b>20.22</b>	<b>19.74</b>	<b>61.76</b>
目標値 (H28年)	<b>19.37</b>	<b>23.26</b>	<b>20.91</b>	<b>68.69</b>
目標値との 乖離	<b>▲2.57</b>	<b>▲3.04</b>	<b>▲1.17</b>	<b>▲6.93</b>
結果	目標値との乖離幅は▲2.57ポイントであり、再生可能エネルギー同様、乖離幅は大きい。	目標値との乖離幅は▲3.04ポイントであり、3事業の中で最も乖離幅が大きい。	目標値との乖離幅は▲1.17ポイントであり、他の2事業と比較しても乖離幅が小さい。	施策に対する期待度合の上昇により、3事業ともに目標値との乖離幅は前年(9.65ポイント)に比べて縮小。

## 参考資料1—①：各指標項目における増減分析（前回H25.1月との比較）

### ○ストレスを感じない割合：上昇（+0.32ポイント）

	A. 新交通サービス 前回⇒今回	増減	B. 再生可能エネルギー 前回⇒今回	増減	C. 健康づくりサービス 前回⇒今回	増減	得点 (30点)	増減
ストレスを感じない割合 (各10点)	4.81 ⇒ <b>4.74</b>	↓	4.83 ⇒ <b>4.51</b>	↓	4.53 ⇒ <b>5.24</b>	↑	14.17 ⇒ <b>14.49</b>	↑

- ・日常生活の中で、どの程度ストレスを感じているか、その問題の解決が自分にとってどの程度重要であるかを得点化。その中から、交通、エネルギー、健康に関する3つの分野の合計を算出。
- ・ストレスを感じない割合が高くなるほど指数は高くなる。
- ・交通分野、再生可能エネルギー分野は微減であったが、健康分野の上昇により指数が改善された。

### ○生活に対する満足割合：低下（▲0.46ポイント）

	A. 新交通サービス 前回⇒今回	増減	B. 再生可能エネルギー 前回⇒今回	増減	C. 健康づくりサービス 前回⇒今回	増減	得点 (30点)	増減
生活に対する満足割合 (各10点)	5.04 ⇒ <b>5.15</b>	↑	8.04 ⇒ <b>7.53</b>	↓	6.52 ⇒ <b>6.46</b>	↓	19.60 ⇒ <b>19.14</b>	↓

- ・鳥取県での生活にどの程度満足してるか、それらの点が自分にとってどの程度重要であるかを得点化し、各分野の合計を算出。
- ・満足割合が高くなるほど指数は高くなる。
- ・交通分野のみ指数改善。再生可能エネルギー分野の指数の低下（▲0.51ポイント）が大きい。

## 参考資料1—②：各指標項目における増減分析（前回H25.1月との比較）

○施策への期待度合：上昇（+3.27ポイント）

	A. 新交通サービス 前回⇒今回	増減	B. 再生可能エネルギー 前回⇒今回	増減	C. 健康づくりサービス 前回⇒今回	増減	得点 (各30点)	増減
施策への期待度合 (各10点)	5.82 ⇒ <b>6.91</b>	↑	6.86 ⇒ <b>8.18</b>	↑	7.18 ⇒ <b>8.04</b>	↑	19.86 ⇒ <b>23.13</b>	↑

- ・地域が抱える課題解決に向けた施策がどの程度良い影響を与えるかを期待値として得点化し、各施策の合計を算出。
- ・期待度合が高くなるほど指数は高くなる。
- ・全ての施策において期待度合は上昇。

○総合的豊かさ度合：低下（▲0.41ポイント）

	前回⇒今回	増減
総合的豊かさ度合 (10点)	5.41 ⇒ <b>5.00</b>	↓

- ・日常生活でストレスをどの程度感じているか、現在の生活にどの程度満足しているか、鳥取県が今後成長する力を持っているかどうかの3つを合わせて「総合的豊かさ」として得点化、それらの中で高得点の回答全体に占める割合を算出したもの。
- ・総合的に豊かだと感じる人の割合は前回より減少。
- ・ストレスを感じていないと回答した人の割合及び成長する力を持っていると回答した人の割合が減少したことによるもの。



## 参考資料2：とっとり幸せの感じ方指標の体系（前回H25.1月との比較）

		課題解決のための施策 →			合計得点
		A 新交通サービス	B 再生可能エネルギー	C 健康づくりサービス	
指標項目	①ストレスを感じない度合	4.81 ⇒ <b>4.74</b> (最高10点)	4.83 ⇒ <b>4.51</b>	4.53 ⇒ <b>5.24</b>	14.17 ⇒ <b>14.49</b> (最高30点)
	②生活に対する満足度合	5.04 ⇒ <b>5.15</b>	8.04 ⇒ <b>7.53</b>	6.52 ⇒ <b>6.46</b>	19.60 ⇒ <b>19.14</b> (最高30点)
	③施策に対する期待度合	5.82 ⇒ <b>6.91</b>	6.86 ⇒ <b>8.18</b>	7.18 ⇒ <b>8.04</b>	19.86 ⇒ <b>23.13</b> (最高30点)
	事業寄与指標値	15.67 ⇒ <b>16.80</b> (最高30点)	19.73 ⇒ <b>20.22</b> (最高30点)	18.23 ⇒ <b>19.74</b> (最高30点)	+
					④総合的な豊かさ度合
					5.41 ⇒ <b>5.00</b> (最高10点)
①+②+③+④=とっとり幸せの感じ方指標値					59.04 ⇒ <b>61.76</b> (最高100点)

### 参考資料3：とっとり幸せの感じ方指標の推移

項目	実施時期	A. 新交通サービス	B. 再生可能エネルギー	C. 健康づくりサービス	合計得点
①ストレスを感じない度合 (各10点・30点満点)	H24. 1	4. 86	4. 70	4. 54	14. 10
	H25. 1	4. 81	4. 83	4. 53	14. 17
	H26. 1	4. 74	4. 51	5. 24	14. 49
②生活に対する満足度合 (各10点・30点満点)	H24. 1	5. 17	8. 14	5. 81	19. 12
	H25. 1	5. 04	8. 04	6. 52	19. 60
	H26. 1	5. 15	7. 53	6. 46	19. 14
③施策への期待度合 (各10点・30点満点)	H24. 1	6. 84	7. 92	8. 06	22. 82
	H25. 1	5. 82	6. 86	7. 18	19. 86
	H26. 1	6. 80	8. 18	8. 04	23. 13
事業寄与指標値 (①～③)の縦軸合計 (各30点・90点満点)	H24. 1	16. 87	20. 76	18. 41	56. 04
	H25. 1	15. 67	19. 73	18. 23	53. 63
	H26. 1	16. 80	20. 22	19. 74	56. 74
④総合的な豊かさ度合 (10点満点)	H24. 1				5. 15
	H25. 1				5. 41
	H26. 1				5. 00
とっとり幸せの感じ方指標値 (①～④の合計) (100点満点)	H24. 1				61. 19
	H25. 1				59. 04
	H26. 1				61. 76